

第50回技術士全国大会（札幌・北海道）に参加して

公益社団法人 日本技術士会 岡山県支部
支部長 川井広一



第50回技術士全国大会は「共創の大地・北海道から始まる技術士の挑戦～ミライの豊かさを実現するために～」をテーマに、2024年10月4日（金）～10月7日（火）の期間で開催された。私は10月4日、サッポロビール園で開催されたウエルカムパーティー、又10月5日、地下鉄南北線中島公園に隣接した札幌パークホテルで開催された第3分科会・大会式典・交流パーティーに参加した。

・ウエルカムパーティー

会は18:00～20:00、JR札幌駅東約2kmにある旧サッポロビール工場跡地で開催された。定員250名で募集したところ短期間で定員に達し、中国本部では数人が参加できなかったようだ。結局総勢280名で開催され、中国本部は指定されたほぼ中央の場所に座った。開会前から大変賑やかに盛り上がり、開会の挨拶もテーブルの向席との会話の声も、聴きづらいくらいであった。普段交流のない他県、又、席続きの四国本部の面々と会話を楽しみ交流することが出来た。会は盛況のうちに閉会となり、雨で足元を濡らしながら帰路についた。



手前中国本部・奥四国本部

・第3分科会（脱炭素）：ゼロカーボンの実現に貢献する北海道の取り組み
会の開始はAM9:30からであったが、早めに受付を済ませ、中島公園の散策にホテルを出た。植生は岡山県のそれとは異なって高木が多く、少し奥まった所に入り込み、人影や人造物の見えない所に立った時、木陰からヒグマやエゾシカが突然現れるのではないかと不安になるくらいであった。



朝一番中国本部展示パネル前

分科会では講師4人による講演があったが、なかでも本間 弘達氏の「雪冷熱を利用したデータセンターと排熱を活用した地域振興について」

は興味深いものであった。徐排雪でデータセンターを冷却、IT排熱を利用して、うなぎ・きくらげ等を生産し、地元で加工し、それを地域の防災拠点にもなる雪の冷蔵庫で保存する。電気も農業残渣や雑草を利用してバイオガス発電を行い供給する。徐排雪を利用した北海道ならではの地域循環型産業構造を目指す取り組みは興味深いものであった。

・大会式典

大会は13:00から開会のアンサンブル演奏から始まった。夕張の杜コンサートメンバー女性3名によるもので、フルート・ピアノ・パーカッションにより、北の国から～遥かなる大地より～・大空と大地の中で・地上の星・情熱大陸の4曲の演奏が披露された。いずれ



コンサートの様子

も北海道の大会にふさわしい曲であると感じた。

式典は、大会委員長である 金 秀俊北海道本部長の歓迎の挨拶、黒崎 靖介日本技術士会会長の式辞に続き、国土交通省北海道開発局長、経済産業省北海道経済産業局長、北海道知事、札幌市長、北海道大学総長の来賓祝辞と続いたが代理参加が多く残念であった。



金英寿大会委員長

黒崎靖介会長

記念講演は、「地域に貢献する経営～地域産業エコシステム～」と題して、株式会社セコマの 丸谷 智保代表取締役会長が講演された。セコマは北海道内で最も多くの店舗を有し、国内では最も古くから営業しているコンビニエンスストア、セイコーマートを有している。食品製造・物流・小売りまでのサプライチェーン『持つ経営』を構築し、事業活動を通して地域に貢献する企業であると紹介された。全国的にも早く超高齢化や人口減少が進む北海道で、物流が困難な無店舗地域への出店や地域産品の積極的な活用で「地域のこし」から「地域おこし」へとつなげ地域と共創する経営について学んだ。

・交流会パーティー

札幌パークホテル地下2階で開催された交流パーティーは、テーブル間も広くゆったりとした会場であった。中国本部の面々は早く入室したのでステージが良く見える正面の来賓席の直ぐ後ろのテーブルに陣取った。金 秀俊大会委員長の開会挨拶、黒崎靖介会長の主催者挨拶の後、来賓挨拶と続き来賓者紹介があった。与党技術士連盟の山東 昭子参議院議員、新妻 秀規参議院議員、他数名による鏡開に続き乾杯でパーティーが開演となった。



中国本部 集合写真

アトラクションは、YOSAKOI ソーラン祭り等に参加している「平岸天神太鼓」による和太鼓演奏が披露された。一幕の後、和太鼓体験者を募ったので、山口県支部の瀬原副支部長、青年技術士交流会の双和委員長らと共に私も壇上に上がり、三三七拍子を打ち会に花を添え盛上げることが出来た。



鏡開き

最後に、次回 第51回全国大会を開催する九州本部の約20名の会員が大会テーマ『かたろう技術のミライ×つなごう技術のちから』や主な行事内容についてデモンストラレーションし、熊本での再会を祈念し閉会となった。



アトラクション 特別参加（太鼓）

参加された皆様、誠にご苦労様でした。